

## 前号の紹介

# JICE REPORT 第46号

## 表紙 インフラ施策を転換し、未来を考える

### 防災伝承に資する地域の活動

表紙は、新潟県関川村で毎年8月に開催される「大したもん蛇まつり」のメインイベントである大蛇パレードの写真である。

大蛇パレードで牽かれる大蛇は、昭和42年8月28日に同地域で起こり、多くの犠牲者を出した羽越水害の惨事を後世に残す思いを含め、羽越水害の発生日にちなんで全長82.8mとしている。また、この祭りは地域の防災教育にもテーマとして取り上げられており、そういった取り組みの結果により、村民の4人に3人は羽越水害の発生日を知っているなど、災害の自分事化につながる防災伝承に役立っている。

### 連動した国の動向

内閣府と国土交通省では、こういった地域の取り組みをインフラ施策の一部と認識し、ハード整備を補完する防災伝承の取り組みを「NIPPON 防災資産」として認定する制度を令和6年5月に創設した。第1回の認定では、大したもん蛇まつりを含む計22の地域の取り組み等が認定されている。

防災資産に関する JICE の取り組みは、本レポートの研究報告をご覧ください。

### インフラ観を転換し、未来につなぐ

堤防などのハード施設だけをインフラと捉えるのではなく、「大したもん蛇まつり」のような地域の防災伝承のための活動も、地域のインフラだと捉えるようなインフラ観の転換が必要である。

防災伝承と治水施設整備が両輪となることで、想定外の水害に対する地域のレジリエンス力を高めることが可能となるなど、さらなる効果が期待できる。

インフラ観を転換し、未来につなげていく政策を進めていく必要がある。



## コンテンツ

### JICEレポート46号について

#### 年頭所感

「乙巳」の年 — 社会を変える政策へ

国土技術研究センター 理事長 / 徳山 日出男

#### 技術研究発表会 特別講演

転換期の日本とインフラ観の展開

政策研究大学院大学 特別教授・東京大学 名誉教授 / 家田 仁 氏

#### 国土政策研究所 講演会

人口減少と国土政策の今後

三井住友海上火災保険株式会社 顧問 / 藤井 健 氏

#### 研究報告

災害を自分事化し、命を守る ～「NIPPON 防災資産」の価値の定着を目指して～

河川砂防技術基準の R6 年の改定について ～情報通信技術の進展を背景として～

社会課題から見た道路交通改善のアプローチ ～道路計画論の再構築にあたって～

ICT・AI を活用した道路巡視の効率化・高度化に向けた取組

地域建設業等の維持に向けた環境整備等への課題と展望 ～改正品確法に係わる災害対応力等の強化について～

建設用 3D プリンタによる生産性向上と今後の展開

#### 事業紹介・事業報告

第 38 回 技術研究発表会の報告

国土技術開発賞

建設技術審査証明事業の動向と審査証明技術の紹介

#### 国際交流・海外調査報告

第 34 回 日・韓建設技術セミナー開催報告